

ABSTRAK

Fitri Ardhini. 2019. Analisis Makna Verba *Kesu* 消す Sebagai Polisemi Dalam Kalimat Bahasa Jepang.

Dalam bahasa Jepang juga terdapat kata yang memiliki satu bunyi yang sama namun mengandung banyak makna, yaitu polisemi dan homonim. Bagi pembelajar bahasa Jepang umumnya cukup sulit untuk membedakan antara perbedaan polisemi dan homonim. Salah satu contoh polisemi adalah verba *kesu* yang memiliki makna dasar "menghapus". Tetapi selain makna 'menghapus', verba *kesu* juga memiliki makna lain seperti 'memadamkan', 'mematikan', 'menghilang', dan makna lainnya. Pembelajar bahasa Jepang kadang kala keliru dalam mengartikan makna verba *kesu* ketika menerjemahkannya ke dalam bahasa Indonesia. Maka dari itu peneliti memutuskan untuk melakukan penelitian dengan judul 'Analisis Verba *Kesu* Sebagai Polisemi dalam Kalimat Bahasa Jepang'. Tujuan dalam penelitian ini adalah untuk mengetahui makna dasar dan makna perluasan yang terkandung dalam verba *kesu* (消す), beserta majas yang terdapat pada verba *kesu* (消す). Teknik analisis data yang digunakan pada penelitian ini yaitu dengan mengklasifikasikan makna (*imi-kubun*) verba *kesu* dengan cara mencari sinonim dari makna verba *kesu* yang terdapat pada kalimat, lalu berdasarkan klasifikasi makna, peneliti menentukan apakah makna yang ditemukan merupakan makna dasar (*kihongi*) atau makna perluasan (*tengi*). Dari makna yang ditemukan, peneliti menentukan apakah makna verba *kesu* dalam kalimat yang diteliti mengandung makna majas yang biasanya terdapat dalam polisemi yaitu majas metafora, metonimi, atau sinekdok. Berdasarkan hasil analisis data, Dari hasil penelitian dengan cara melihat kamus diketahui bahwa makna dasar verba *kesu* adalah 'menghapus' dan 'memadamkan'. Namun dalam penelitian ternyata ditemukan bahwa ada makna perluasan yang dapat menjadi makna dasar. Sehingga makna dasar yang peneliti temukan berjumlah 3 makna dasar, yaitu 'menghapus', 'memadamkan', dan 'menghilangkan'. Sedangkan untuk makna perluasan berjumlah 4 makna. yaitu 1. 'mematikan' (menghentikan produksi), 2. 'menghilang' (membongkar bangunan, kalah dari pertandingan, berpindah tempat, mundur dari jabatan, pergi meninggalkan), 3. 'membunuh', dan 4. 'mengurangi/menurunkan'. Dari penelitian ini, terdapat makna verba *kesu* dalam kamus yang tidak peneliti temukan pada data kalimat yang diteliti yaitu makna 'meniup'. Pada penelitian ini ditemukan kalimat yang mengandung majas metafora yang berjumlah 2 kalimat, lalu majas metonimi yang berjumlah 27 kalimat.

Kata Kunci : Semantik, Polisemi, Makna Dasar dan Makna Perluasan, Majas

日本語の文章における多義語として「消す」の意味の分析

ジャカルタ国立大学

フィトリ・アーディニ

ardhini.fitri@gmail.com

概要

A. 背景

言語は人間の生活にとって重要な役割を果たしている。毎日のコミュニケーションの手段として、人間は言葉から切り離すことができない。言語は口語的と文語的、その二つの方法で表現できる。その二つの方法は同じ目的を持つ。それはアイデア、考え、意見、感情、ニュースもしくは情報として他人に伝えることです。(Sudjianto dan Dahidi, 2009:54)

世界の国はそれぞれ独自の言語を持っており、その言語は国の特性とアイデンティティである。国の言語に違いがあるからこそ、人々に好まれている。言語を通じて私たちは国の文化、歴史、社会の特徴を理解することができるが、日本語は外国語を習得することがほとんどない。

日本の国語は日本語である。Sudjianto (2009:98) によると文法的性質に基づく動詞、イ形容詞、ナ形容詞、名詞、動詞、連体詞、副詞、感動詞、接続詞、助動詞と助詞があり日本語は以上により分類されている。

そのなかでも日本語の動詞は数多く存在し、多義語や同音異義語と言った単語が存在する。日本語学習者にとって区別することが難しい。

Sutedi (2008:145)では Kunihiro 氏によると、多義語あるいは同音異義という区別する必要があると言った。なぜなら両方とも二重の意味を指すためである。国広氏はこの二つの用語について明確な境界線を与えた。多義語は複数の意味を持ち、それぞれの意味は関連がある言葉である。

多義語の例として「消す」という動詞がある。「消す」の基本的の意味は消し止めることだが、火消しやく、もみ消す、姿を消すなどあるが、文章の中に「消す」が含まれる場合、文章によって意味が変化する。

日本語学習者は「消す」の意味と使い方を、インドネシア語に訳す時に間違える可能性が高いため、「日本語の文章における多義語として「消す」の意味の分析」という研究を行うことにした。

この研究の目的は、文章の中にある「消す」の意味を検索すること。次に、「消す」の基本の意味と拡張する意味を検討し、目的が達成できるかどうか分析する。

B. 研究の目的

本研究の問題設の目的は下記の通りである。

1. 日本語の文における「消す」の基本義はどうか。
2. 日本語の文における「消す」の転義はどうか。
3. 日本語の文における「消す」が含まれた比喻はどうか。

C. 研究結果と分析

この研究は 2019 年 5 月から 2019 年 8 月約 4 ヶ月間行った。そして、ジャカルタ国立大学の The Japan Foundation 図書館にある本から理論を探し文学研究を行った。

使用した分析の方法は定性的記述方法である。多義語の研究に使用される方法は、意味を選択、基本的な意味を決める、文中の意味の関係を説明する 3 つである。この研究で使用されたデータはデジタル新聞から実例を探す。例えば Yomiuri Digital (www.yomiuri.com), Yahoo HeadlineNews Digital (www.headlines.yahoo.co.jp), Asahi Digital (www.asahi.com), Kotonoha Shonagon その他データは日本語のテキストボックスから使用する。

「消す」という動詞の分析の例は次のとおりである。

- (4) 彼女にできることといえば、肉体の叫びを黙らせ、燃え上がる炎を消すために、むなしい努力を続けることくらいだろう。
(http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/search_result)

彼女にできることといえば、自分の怒りと心の悲鳴を和らげるを続けることくらいだろう。

分析：

文 (4)、動詞 kesu (消す) で解釈すると、「削除」を意味する場合、「... 燃え上がる炎を消し止める」となり、インドネシア語では受け入れられない。炎の形で対象語を除去するためのより適切な動詞は、単語「消す」である。文 (4) の「心の悲鳴を和らげる」という言葉は、本当の意味で火を消すことではなく、「怒りを抑える」ことを意味である。意味から判断すると、「炎を消す」という言葉には韓愈が含まれている。

D. 結論

40 の文章中では 6 の意味「3 つ基本的意味、残りは 10 つ拡張の意味」があることを発見した。その 6 の意味は対象語によって意味が変わることもわかった。

- 1) 消し去る (基本的意味)
- 2) 消し止める・火消しやく (基本的意味)
- 3) 電気を消す (拡張の意味)

4) 見えなくする (拡張の意味)

- 姿を消す
- 建物を崩す
- 移転する
- 感情を和らぐ
- 負ける
- 働きをなくす

5) 人を殺す (拡張の意味)

6) 音・臭いなどをなくす (拡張の意味)

Tabel 5.1
消すの意味

番号	消すの意味	文の量
1	消し去る	6
2	火消しやく	2
3	電気を消す	4
4	見えなくする	27
5	人を殺す	2
6	音・臭いなどをなくす	5
合計		40

E) 消すが含まれたの比喩

消すを含む 40 件の実例文の分析結果から、そのうち 11 件は基本的な意味であるため、意味の関係を分析することはできないことである。したがって、意味の関係をを見つけるための分析は、29 の文のみで行われる。動詞の基本的な意味と拡張された意味の間に生じる意味の関係は、比喩によって影響を受けることが知られています。この研究では、隠喩の 2 つの文を含む文が見つかり、次に 27 の文の韓愈が見つかりました。

Tabel 5.2
比喩

番号	比喩	文の量
1	隱喩	2
2	韓愈	27
3	提喩	0
合計		29